



2019年3月期第3四半期

(2018年4月1日～2018年12月31日)

決算説明資料

2019年2月1日
ディービーエックス株式会社
証券コード：3079

目次

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 当第3四半期の決算概況 | P3 |
| 2. 業績予想 | P12 |

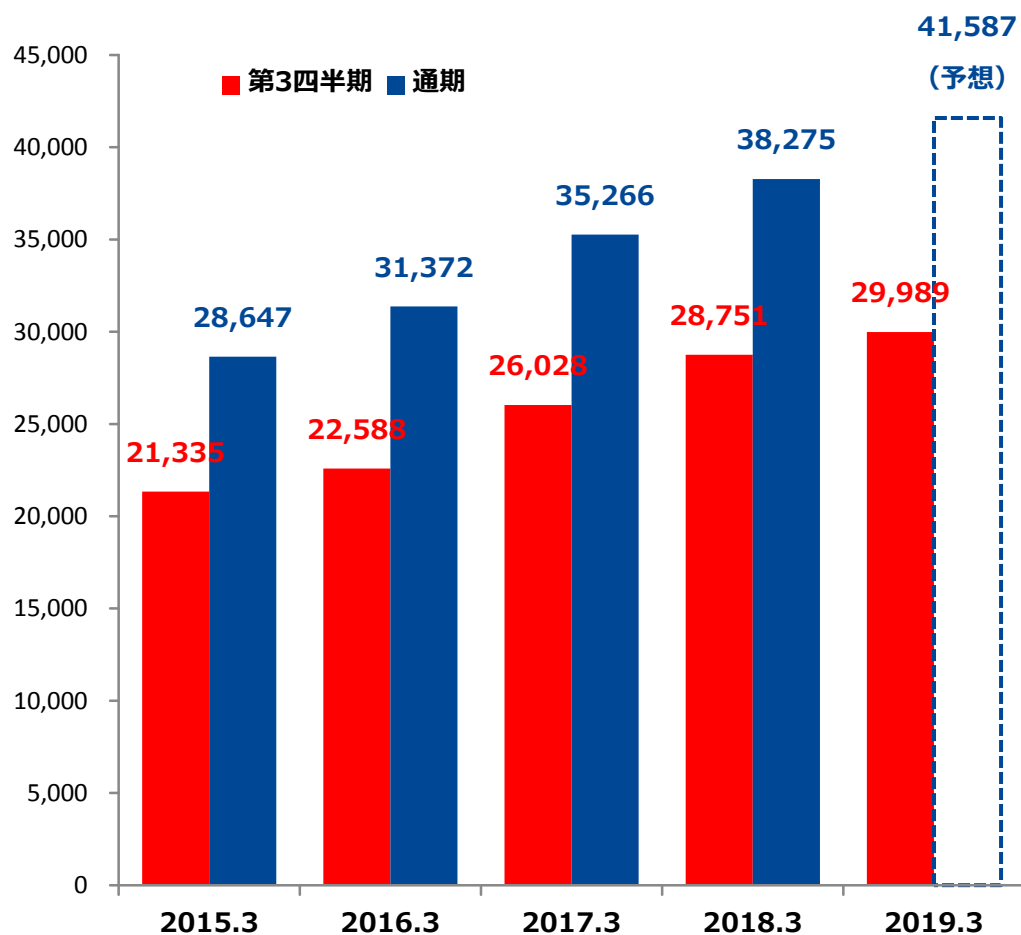
1. 当第3四半期の決算概況

要約損益計算書（第3四半期）

	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	29,989	100.0	28,751	+4.3
売上総利益	3,841	12.8	4,132	-7.0
販管費	3,094	10.3	3,054	1.3
営業利益	747	2.5	1,078	-30.7
経常利益	760	2.5	1,098	-30.8
四半期純利益	577	1.9	689	-16.2

売上高

(単位：百万円)

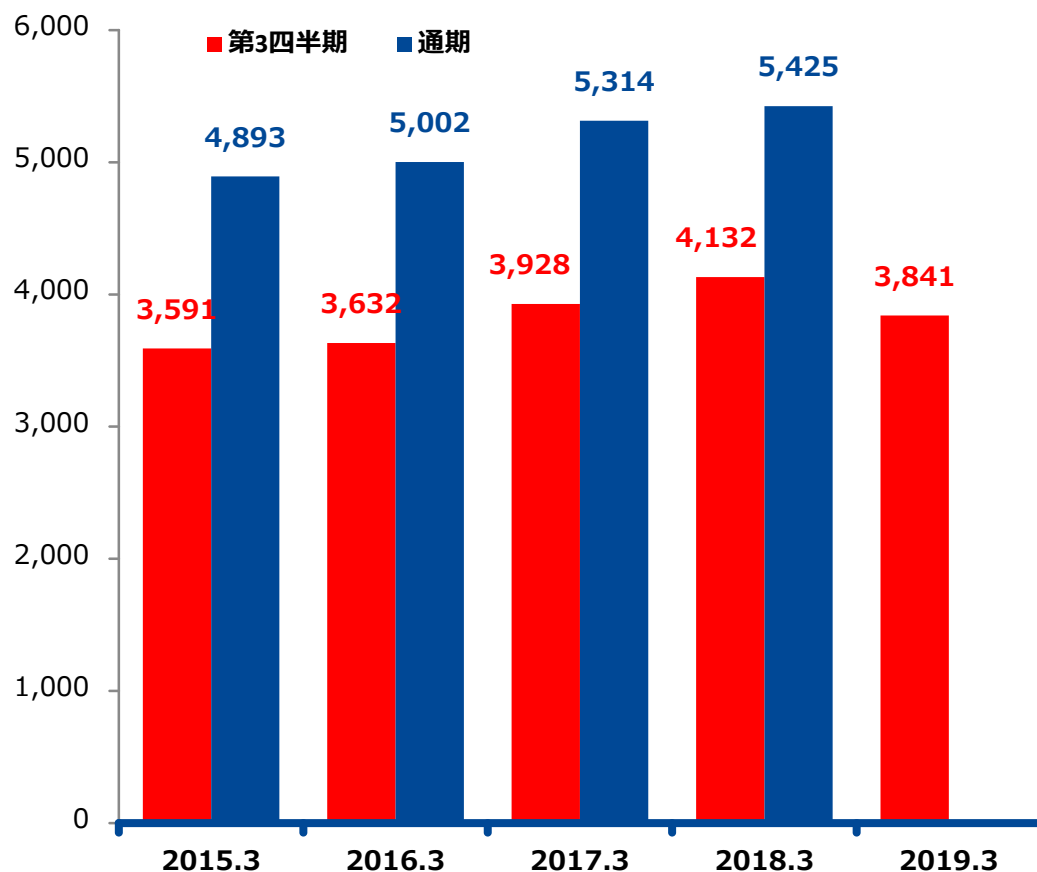


前年同期比**4.3%増**の
299.8億円を達成

- ✓ 2018年4月に保険償還価格が引き下げられたほか、医療機関からは、経営環境改善のための値下げ要請への対応が求められる厳しい事業環境
- ✓ 不整脈事業における主力商品（カテーテルアブレーション治療用カテーテル類、検査用電極カテーテル等）の販売数量の増加

売上総利益

(単位：百万円)



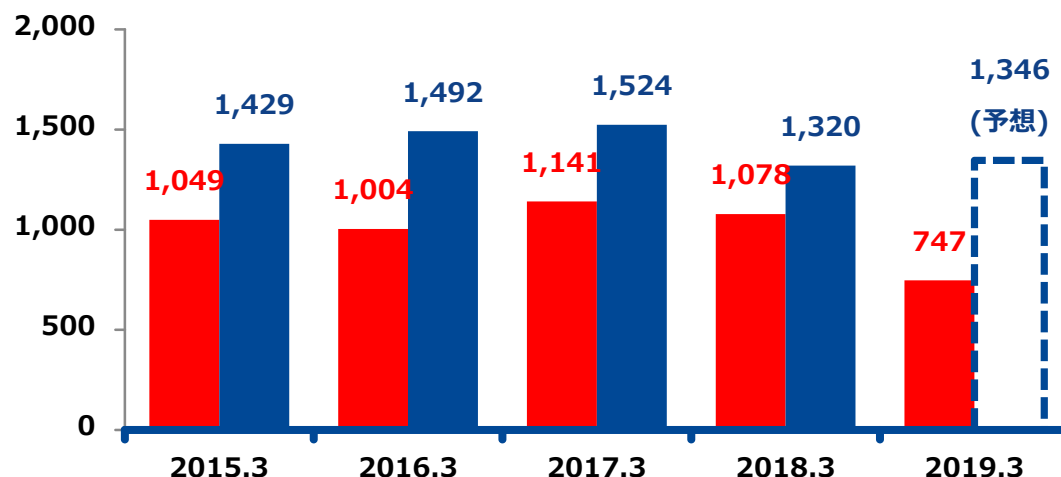
前年同期比**7.0%減**の
38.4億円

- ✓ 2018年4月に保険償還価格が引き下げられたほか、医療機関からは、経営環境改善のための値下げ要請への対応が求められる厳しい事業環境
- ✓ 比較的粗利益率が高かった自動造影剤注入装置の取扱いが2017年5月末に終了
- ✓ 前年同期に2.5億円計上していた上記装置に関する移管業務委託収入が0.75億円に減少

営業利益

(単位：百万円)

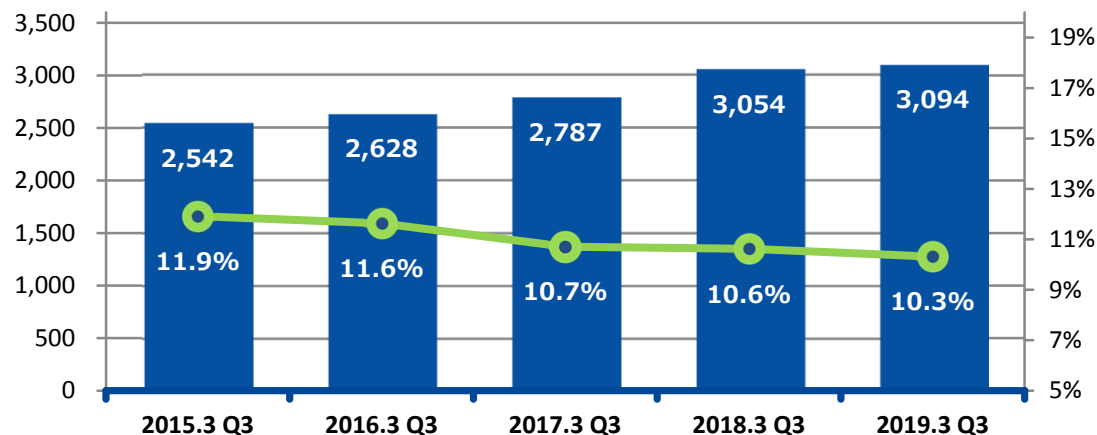
■ 第3四半期 ■ 通期



前年同期比**30.7%減**の
7.4億円

(単位：百万円)

■ 販管費 ● 販管費比率

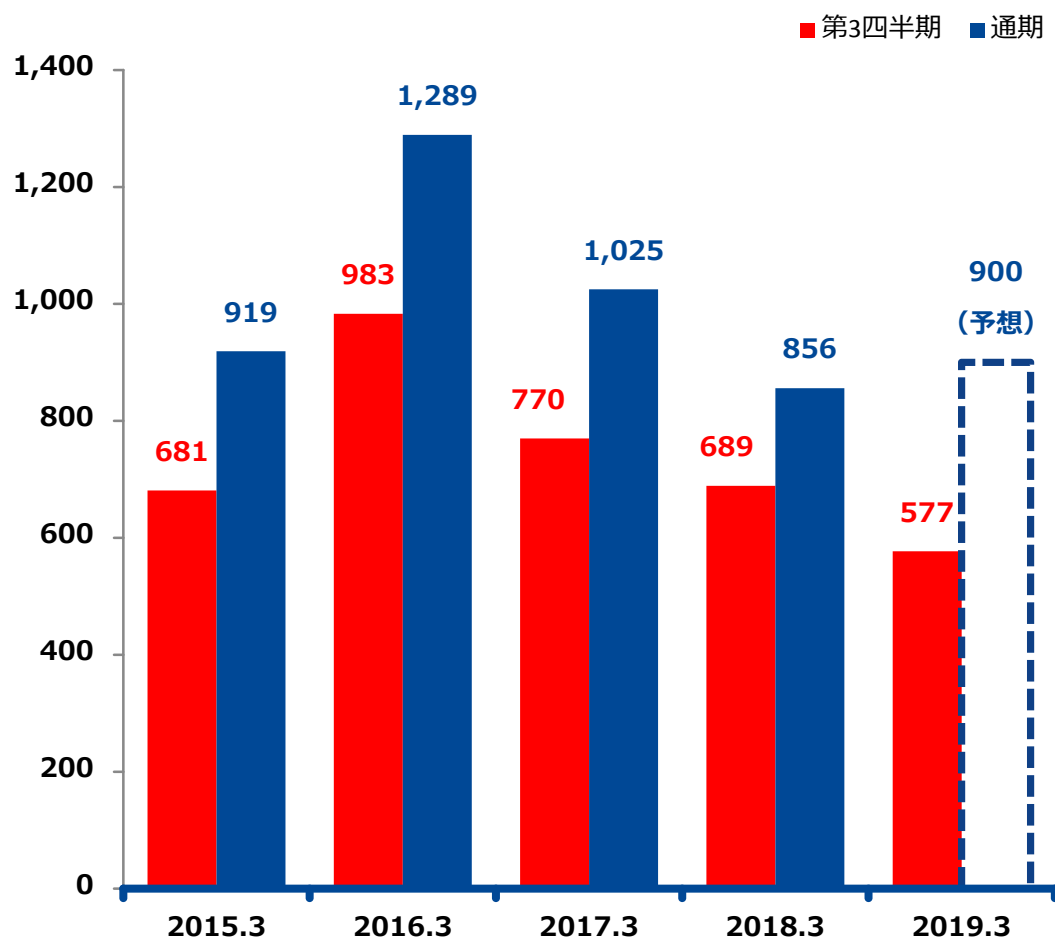


販管費、販管費比率

- ✓ 販管費は業容拡大に伴う人件費や販売費が増加（約40百万円）
- ✓ 販管費比率は 前年同期比0.3ポイント低下

四半期純利益

(単位：百万円)



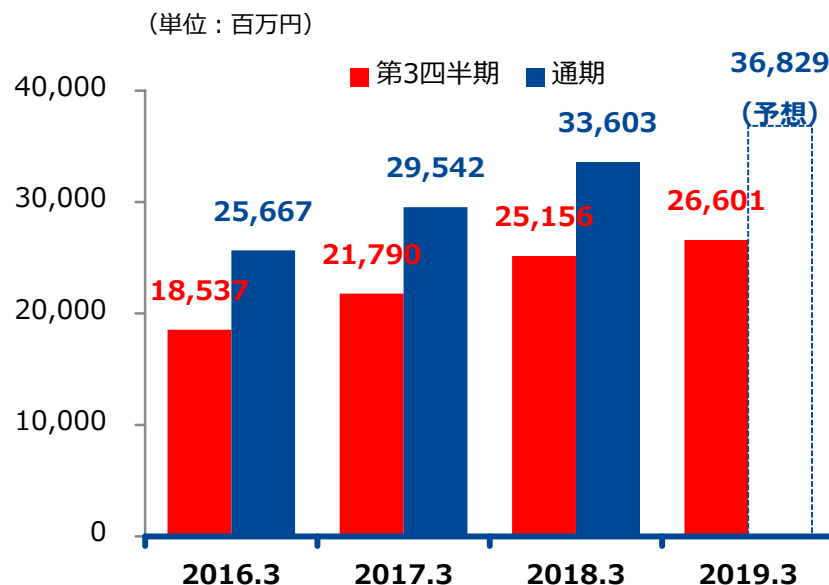
前年同期比**16.2%減**の
5.7億円

減益要因

- ✓ 比較的粗利益率の高かった自動造影剤注入装置の取扱いが2017年5月末に終了
- ✓ 前年同期に2.5億円計上していた上記装置に関する移管業務委託収入が0.75億円に減少

事業別業績概況

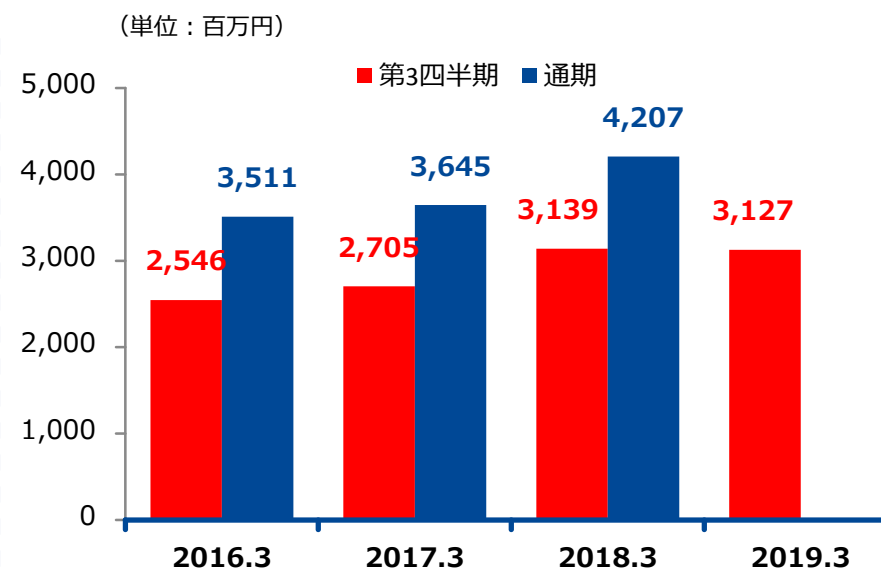
不整脈事業



売上高**266.0億円**

(前年同期比**5.7%増**)

✓ アブレーション（心筋焼灼術）用力テーテル類や
検査用電極カテテル等の主力商品の販売数量
増加



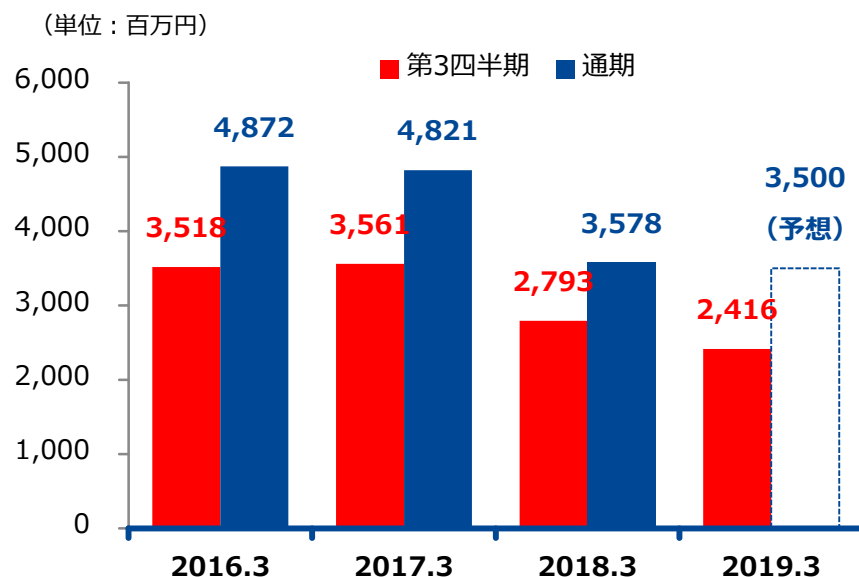
セグメント利益**31.2億円**

(前年同期比**0.4%減**)

✓ 利益率は11.8%（前年同期12.5%）

事業別業績概況

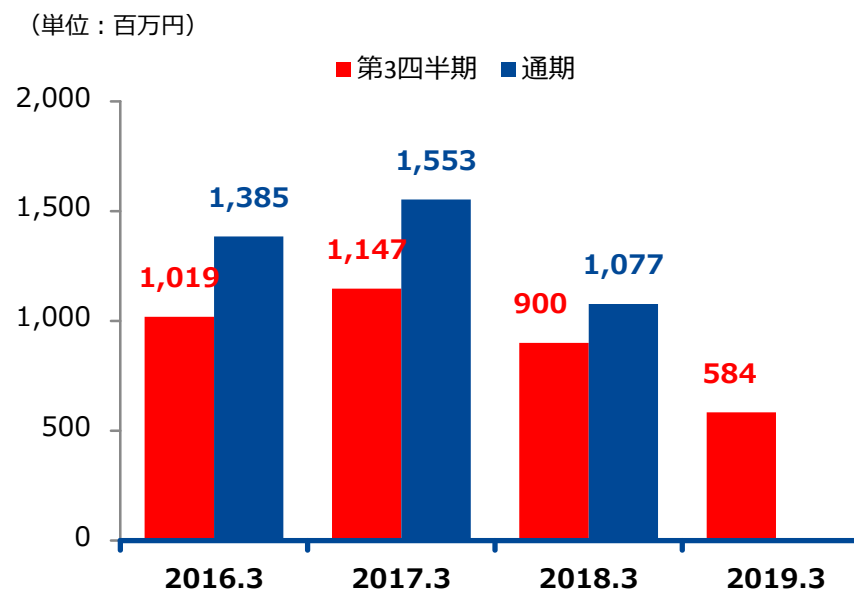
虚血事業



売上高**24.1億円**

(前年同期比**13.5%減**)

- ✓ エキシマレーザ血管形成システムの販売は堅調
- ✓ 自動造影剤注入装置の取扱いが2017年5月末に終了
- ✓ 前年同期に2.5億円計上していた上記装置に関する移管業務委託収入が0.75億円に減少



セグメント利益**5.8億円**

(前年同期比**35.1%減**)

- ✓ 利益率は24.2% (前年同期32.2%)

要約貸借対照表（第3四半期末）

	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産(※)	16,579	92.6	16,451	+0.8	● 自己株取得等による現預金の減少（1,168百万円） ● 売上債権の増加（982百万円）
固定資産(※)	1,334	7.4	1,179	+13.2	● 営業用資産（デモ・レンタル機）の取得による増加（126百万円）
資産合計	17,914	100.0	17,630	+1.6	
流動負債	10,463	58.4	9,867	+6.0	● 仕入高増加による買掛金の増加（712百万円）
固定負債	385	2.2	390	-1.5	● 長期借入金の減少（20百万円）
負債合計	10,848	60.6	10,258	+5.7	
純資産	7,065	39.4	7,371	-4.1	● 四半期純利益による増加（577百万円） ● 自己株式の取得による減少（623百万円） ● 剰余金の配当による減少（259百万円）
負債純資産合計	17,914	100.0	17,630	+1.6	

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分（固定資産）に表示しております。

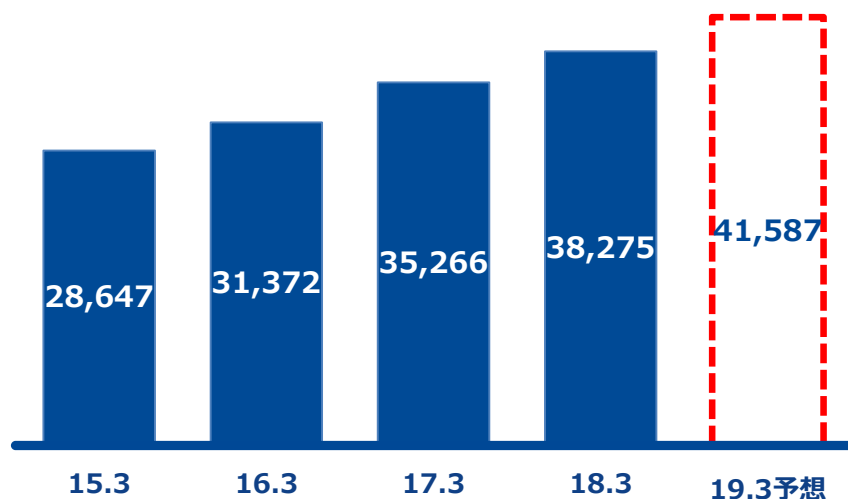
2. 業績予想

2019年3月期 業績予想

DVx ディーブイエックス株式会社

(単位：百万円)

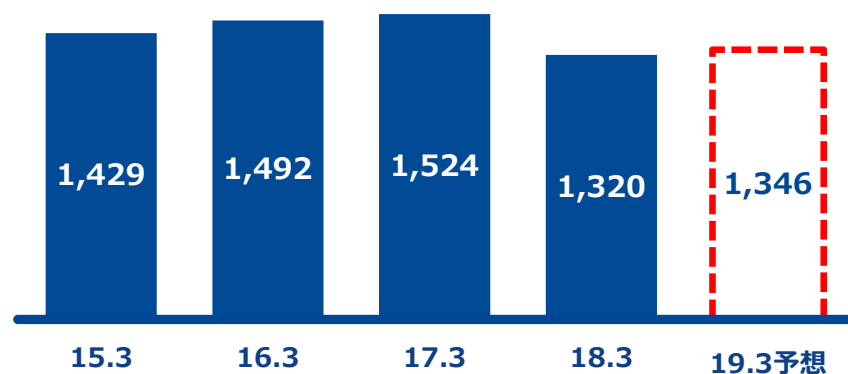
※当初公表した業績予想から変更なし



予想売上高 415億円

(前期比8.7%増)

- ✓既存顧客の深耕と営業エリア拡大による上場以来の連続増収を見込む
- ✓独自商品の販売拡大と新商材の獲得に努める



予想営業利益 13.4億円

(前期比2.0%増)

- ✓医療機関のコスト意識の高まりによる値下げ要請や仕入先メーカーからの値上げ要請による利益率の低下を見込む
- ✓承認移管業務委託収入を見込む
- ✓想定為替レートは110円／ドル

2019年3月期 業績予想

DVx ディーブイエックス株式会社

※当初公表した業績予想から変更なし

予想当期純利益9.0億円

(前期比5.2%増)

予想EPS 81.80円

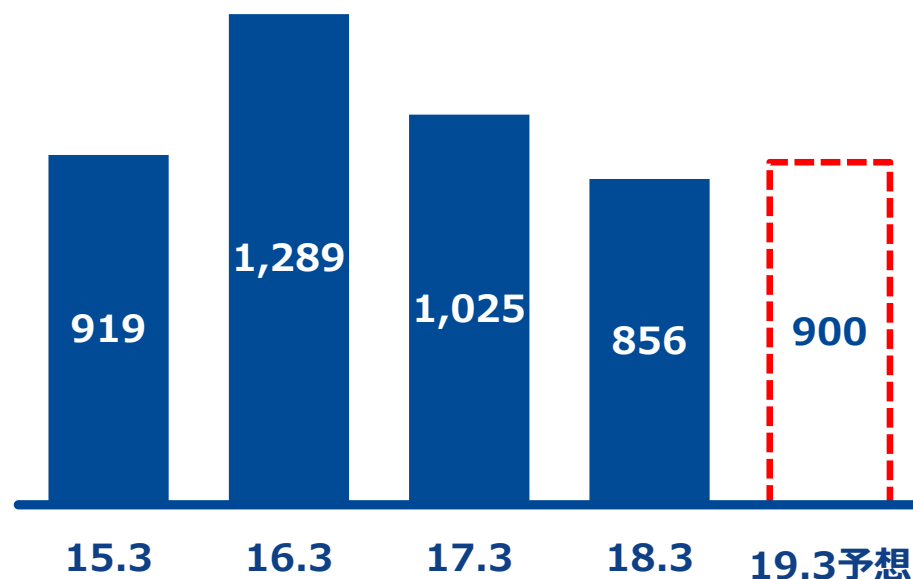
(前期実績75.92円)

※予想EPSは8月29日に実施した自己株式の取得の影響を考慮しております

増益要因

- ✓不整脈事業において、高度な専門性を生かした提案型営業による既存顧客の深耕と新規顧客開拓を行うことで営業エリアの拡大を目指す
- ✓メーカーとの関係強化を通じて、仕入コストの低減に取り組む
- ✓2018年3月期には特別損失（投資有価証券評価損）を1億2千万円計上しているため

(単位：百万円)



進捗率

2019年3月期通期計画（進捗率）

	通期計画	当第3四半期累計（実績）	進捗率
売上高	41,587	29,989	72.1%
営業利益	1,346	747	55.5%
経常利益	1,346	760	56.4%
当期（四半期）純利益	900	577	64.2%

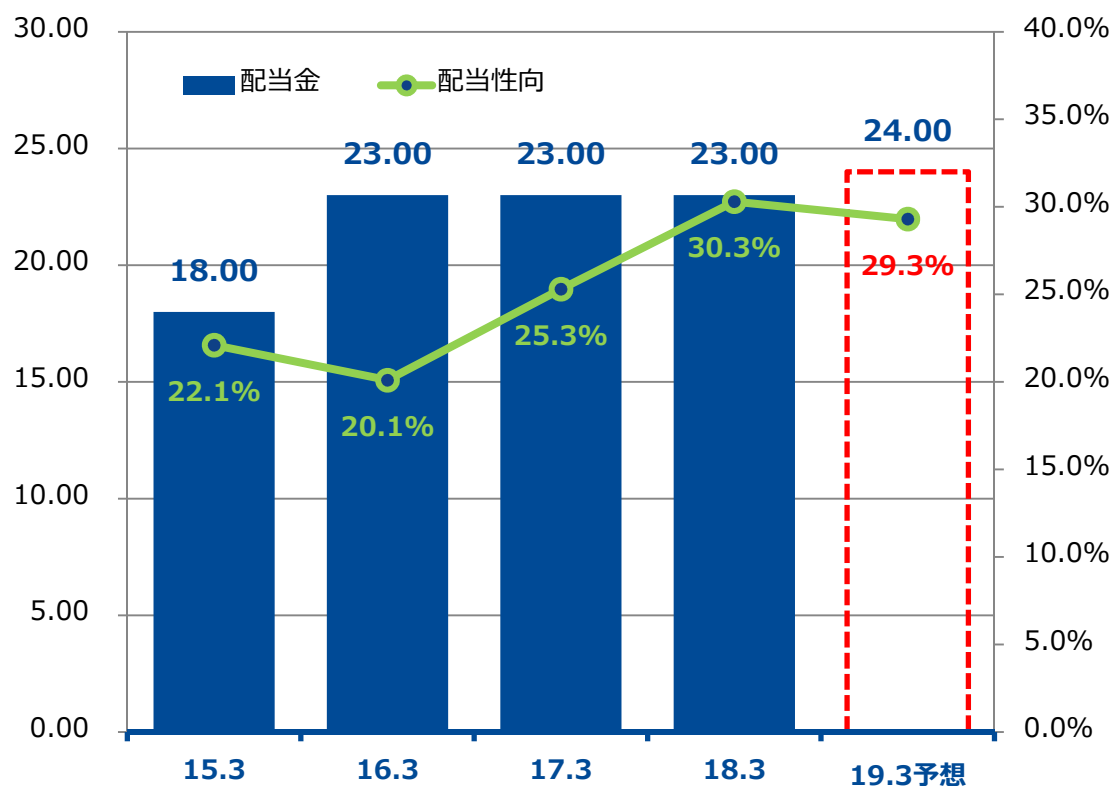
営業利益以下の各段階利益の進捗率は低くなっているが、第4四半期において、SPNC社製品の日本国内における製造販売業の承認移管業務に対する収益などが見込まれることから、通期の業績予想は当初予想から変更なし。

なお、承認移管業務につきましては、本日リリースのとおり現在遅延が生じておりますが、移管先と協議の上、順次移管に向けた手続きを進めております。

2019年3月期 配当予想

DVx デーブイエックス株式会社

(単位：円)



※ 2015年3月期には記念配当1円を含む

※当初公表した配当予想から変更なし

✓2018年3月期より
配当性向30%
に基本方針変更

予想期末配当24円
(予想配当性向 29.3%)

※予想配当性向は8月29日に実施した自己株式の取得の影響を考慮しております

 Development
Venture
X (無限の可能性)

■ I R についてのお問い合わせ先 財務経理部



TEL : 03-5985-6832 FAX : 03-5985-6106 U R L <http://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。